

# 備瀬のフクギ並木



認定番号 72

樹種名	フクギ	科名	オトギリソウ科	方言名	フクジ	学名	Garcinia subelliptica Merr.						
形状・寸法	樹高	15.0 m	胸高周囲	2.1 m	根本周囲	2.8 m	樹幹占有面積 57.0 m <sup>2</sup>						
	枝下高	5.4 m	枝張	東 3.5 m 西 3.7 m	南 5.0 m 北 4.8 m	最大樹冠幅 9.8 m							
通称	備瀬のフクギ並木		樹齢		300年(推定)								
所在地	本部町字備瀬453付近					所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明						
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 (森林)					状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 その他 7 なし					気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 (屋敷林)						平均気温(°C)	16.7	16.1	18.1	22.7	25.3	28.1
土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:					気象条件	降水量(mm)	237.0	123.0	212	357.0	124.5	309.5
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ( )						平均風速(m/s)	4.0	4.5	3.7	3.6	3.2	3.5
土壌	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ( )					気象条件	風向	NNE	S	S	NNE	S	WNW
	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:						月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基岩・母材	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪地 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他					気象条件	平均気温(°C)	29.6	29.4	28.2	27.4	22.3	19.8
	1 堆積土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない						降水量(mm)	101.0	172.0	359.0	139	117.5	28.5
地形	1 堆積土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない					気象条件	平均風速(m/s)	3.6	3.0	3.8	3.5	3.6	3.9
	1 堆積土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない						風向	S	NNE	SSW	SSE	NNE	N
土性	1 堆積土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない					気象条件	年平均気温	23.6 °C		最高気温 34.1 °C			
	1 堆積土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない						年降水量	2280.0 mm		最低気温 5.5 °C			
根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし					潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)						
	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし						日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良					
管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m 材質 柵内面積 m <sup>2</sup> ) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他					周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))						
	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし						周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし					
過去の治療歴と内容	無し					周辺樹木との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている						
	無し												
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 明治38年(1905年)頃に移植されたと言われ、100年以上も天底小学校の児童を見守ってきた。 6 不明												
	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 明治38年(1905年)頃に移植されたと言われ、100年以上も天底小学校の児童を見守ってきた。 6 不明												
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)												
	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)												
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 クワズイモ、オオタニワタリ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 4 その他 観光スポット												
	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 クワズイモ、オオタニワタリ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 4 その他 観光スポット												

地上部の衰退度判定（認定番号72）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 0.91

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8～1.6未満 やや不良	1.6～2.4未満 不良	2.4～3.2未満 著しく不良

倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係				
根返り				
幹折れ				
大枝折れ				
中・小枝落下				
幹の傾斜の増大				
その他( )				

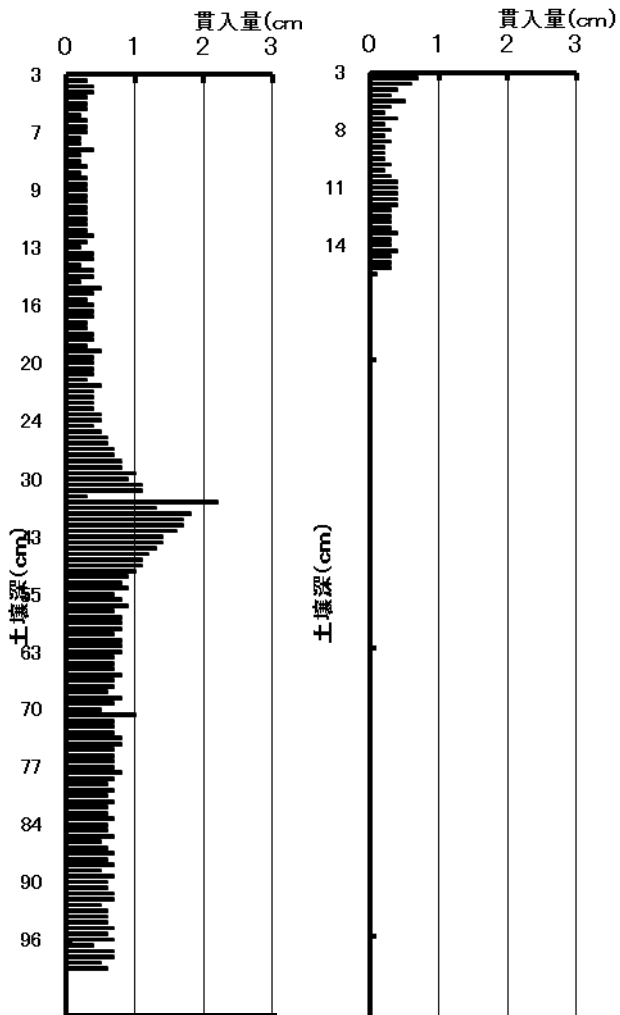
土壤調査結果

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)	調査場所
I	7.5YR3/3	0-10	—	砂土	8.0	9.5	民家側
II	7.5YR5/3	10-11	—	砂土-シルト質壤土			
III	10YR4/3	11-16	堅果状	砂土-シルト質壤土			
I	7.5YR6/3	0-2	—	砂土	8.2	7.4	道路側
II	7.5YR4/4	2-16	—	砂土			
III	7.5YR4/3	16-	—	砂壤土			

土壤貫入量結果

民家側  
土壤貫入量

道路側  
土壤貫入量



民家側

道路側



備瀬のフクギ並木

部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～25cm は砂土で角塊状の小礫を含む。粘性がなく、検土杖で採取困難である。25cm 以深は壤質砂土で若干顆粒状の礫を含む。</li> <li>・固結しており、特に道路側は著しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根系の発達を促す措置を検討する。(例えば計画的にスポット状に土壌改良を行う等。)</li> </ul>
根	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接するフクギと癒合している。</li> <li>・ヒコバエが2本発生。</li> <li>・地際部の貫入異常は無く腐朽は認められない。</li> <li>・北側 2mに露出根が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無し。</li> </ul>
幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2.7m で二叉に分岐する。</li> <li>・西側高さ 0.5m、1.7m に胴ぶきが発生している。</li> <li>・枝の脱落痕は正常に巻き込まれ、樹皮の異常は認められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無し。</li> </ul>
枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若干枝が細く、短い、異常ではない。</li> <li>・一部の小枝枯れを除き、傷痕部がほとんど認められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枯死枝の切除を検討する。</li> </ul>
葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉量がやや乏しく、梢端部で若干小さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施肥(緩効性肥料)、土壌改良の実施を検討する。</li> </ul>
備考	<p>当面は枯死枝の落下防止が緊要となると考える。当該場所は大径木が特に多く生育し、観光ルートになっているため、将来に向けて安全確保を図りつつ、踏圧の軽減等、フクギの生育環境の整備・保全を検討すべきと考える。</p>	

